

インフルエンザ流行情報について（第9報）

●インフルエンザ流行情報

本県における平成30年第4週(1月22日～1月28日)のインフルエンザ定点当たりの患者報告数は50.56(平成30年3週は51.05)となり、先週と同様でした。例年と比較して非常に高く、大きな流行となっています。

保健所管内別のインフルエンザ定点当たりの患者報告数は、土浦保健所管内(68.31)が最も高く、古河(62.38)、鉾田(61.40)、潮来(61.25)、竜ヶ崎(61.15)の順に高い状況です。

県民の皆様には、より一層「手洗いの励行」、「咳エチケットの実践」等の感染予防対策をお願いいたします。

なお、茨城県衛生研究所において、平成29年9月4日から平成30年1月28日までの期間にインフルエンザウイルスを検出した114検体の種類の内訳は、AH3(A香港型)が27検体(23.68%)、AH1pdm09が48検体(42.11%)、B型が39検体(34.21%)となっています。

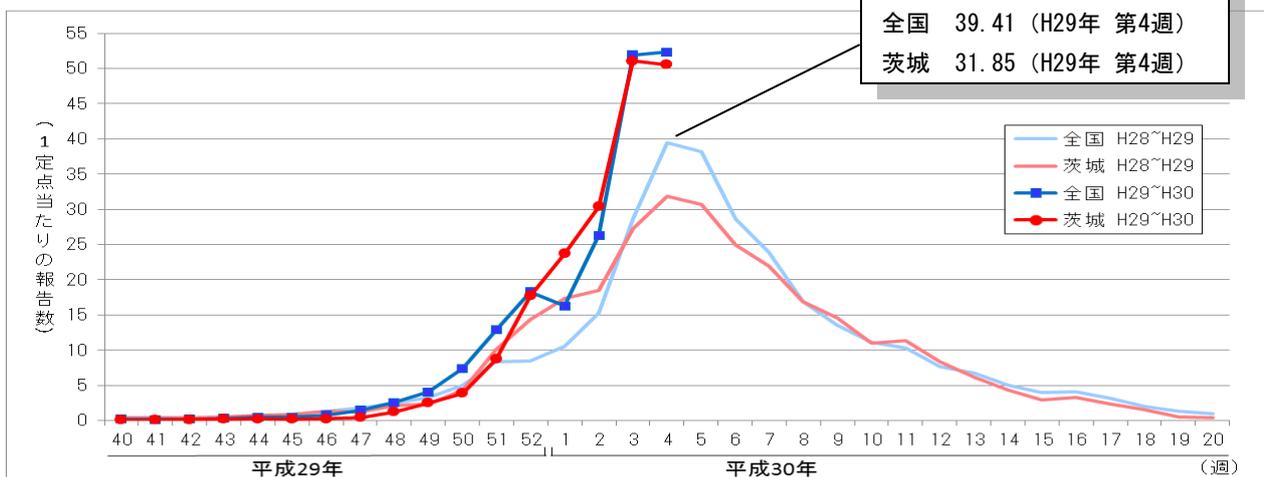
[昨シーズン全体で AH3(A香港型):75.6%, AH1pdm09:8.1%, B型:16.3%]

また、インフルエンザ流行情報および学級閉鎖等措置・集団発生等の状況については、感染症情報センターのホームページに掲載し、毎週木曜日に更新しています。

【茨城県感染症情報センターホームページURL】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/index.html>

感染症発生動向調査(定点当たりの患者報告数の推移)※



※値は速報値です。今後数値に若干の変更が生じる場合があります。

インフルエンザの流行に関する警報・注意報について

- ① 定点当たりの患者報告数が基準値(注意報: 10 警報: 30)を超えた保健所区域には「地域注意報」又は「地域警報」を発令します。また、県全体において定点当たりの患者報告数が基準値を超えた場合には、「県全域注意報」又は「県全域警報」を発令します。
- ② **注意報**：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があること、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。
警報：大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。
 なお、警報の解除は終息基準値(10)を下回ったときになります。

《各保健所管内のインフルエンザ流行状況》

4週の値は速報値です。今後数値に若干の変更が生じる場合があります。

保健所	調査期間： H30. 1. 22～H30. 1. 28 (第4週)			調査期間： H30. 1. 15～H30. 1. 21 (第3週)		
	定点数	患者数	定点当たりの患者報告数※	定点数	患者数	定点当たりの患者報告数※
水戸	17	500	29.41	17	493	29.00
ひたちなか	8	466	58.25	8	404	50.50
常陸大宮	8	300	37.50	8	354	44.25
日立	11	341	31.00	11	369	33.55
鉾田	5	307	61.40	5	295	59.00
潮来	8	490	61.25	8	414	51.75
竜ヶ崎	13	795	61.15	13	918	70.62
土浦	13	888	68.31	13	865	66.54
つくば	10	500	50.00	10	539	53.90
筑西	10	572	57.20	10	482	48.20
常総	8	359	44.88	8	390	48.75
古河	8	499	62.38	8	552	69.00
県全体	119	6,017	50.56	119	6,075	51.05

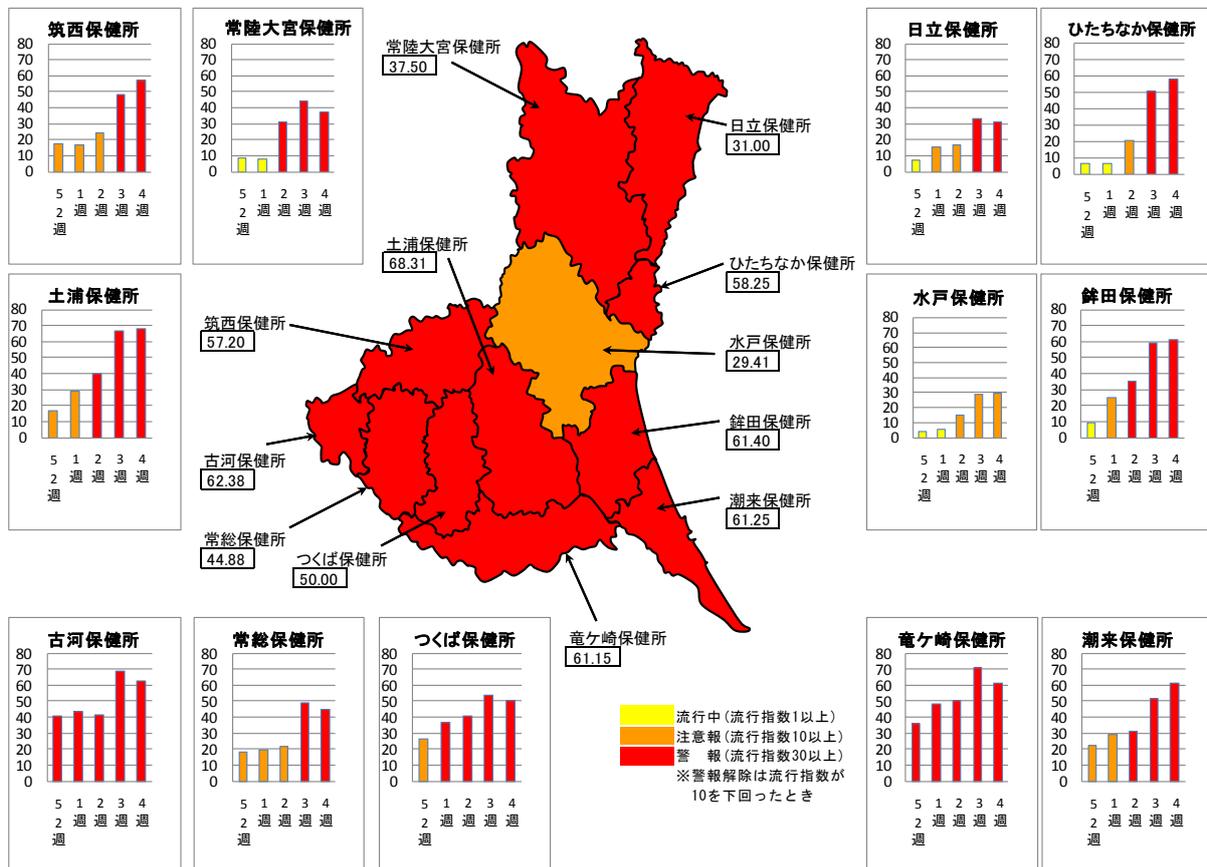
※ インフルエンザの定点当たりの患者報告数は1定点あたり1週間の平均患者数

インフルエンザの定点当たりの患者報告数 = $\frac{\text{インフルエンザ定点において1週間の間にインフルエンザと診断した患者数}}{\text{インフルエンザ定点数(県内に119医療機関[平成30年1月28日時点])}}$

・ 定点当たりの患者報告数が 1.0 を超えると流行期に入ったと判断します。

《茨城県内のインフルエンザ流行マップ》

● 2018年第4週（1月22日～1月28日）および過去4週間のインフルエンザ流行状況



※値は速報値です。今後数値に若干の変更が生じる場合があります。

茨城県のインフルエンザによる入院患者の概況

期間(報告週) 2018年4週

(1) 入院患者の届出数

年齢別 \ 期間		12/25~12/31 (52週)	1/1~1/7 (1週)	1/8~1/14 (2週)	1/15~1/21 (3週)	1/22~1/28 (4週)	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 ※1
入院患者数 ※1		20人	40人	70人	82人	75人	0人	0人	9人	30人	267人			306人
年齢別 内訳	1歳未満	1人	1人		2人	2人				2人	5人			7人
	1~4歳	2人	1人	1人	7人	4人			2人	3人	13人			18人
	5~9歳	4人	1人	5人	3人	3人			2人	7人	12人			21人
	10~14歳	1人	1人	1人	1人	1人			1人	1人	4人			6人
	15~19歳	1人	1人		1人	2人				1人	4人			5人
	20~29歳		1人			1人					2人			2人
	30~39歳	1人		1人	1人	2人				1人	4人			5人
	40~49歳	1人	3人	6人	2人	2人			1人	2人	13人			16人
	50~59歳		3人	2人	4人	5人					14人			14人
	60~69歳	1人	2人	8人	13人	8人				1人	31人			32人
	70~79歳	1人	10人	18人	19人	15人			1人	4人	62人			67人
80歳以上	7人	16人	28人	29人	30人			2人	8人	103人			113人	

※1 基幹定点医療機関(県内13か所)からのインフルエンザによる入院患者の届出数。

※2 平成29年9月4日以降に入院した各患者の累計数(入院日を登録)。

※ 2017~2018シーズンは2017年36週(9/4~9/10)からスタートしています。

(1) 入院患者の週別推移(全国)

年齢別 \ 期間(報告週)		2017年52週	2018年1週	2018年2週	2018年3週	2018年4週	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 ※1
入院患者数 ※3		791人	1,268人	1,742人	2,406人	2,055人	64人	109人	350人	1,782人	7,471人			9,776人
年齢別 内訳	1歳未満	47人	46人	52人	76人	67人	3人	6人	15人	92人	241人			357人
	1~4歳	134人	156人	186人	261人	217人	10人	19人	56人	287人	820人			1,192人
	5~9歳	114人	110人	114人	221人	201人	9人	9人	53人	287人	646人			1,004人
	10~14歳	31人	35人	44人	72人	84人		3人	14人	88人	235人			340人
	15~19歳	8人	14人	11人	16人	14人		3人	6人	23人	55人			87人
	20~29歳	6人	18人	24人	28人	16人		1人		20人	86人			107人
	30~39歳	15人	22人	29人	35人	29人	3人		5人	41人	115人			164人
	40~49歳	21人	40人	60人	63人	46人	3人	1人	7人	43人	209人			263人
	50~59歳	24人	69人	79人	107人	71人	1人	2人	14人	48人	326人			391人
	60~69歳	74人	143人	188人	256人	211人	6人	10人	23人	163人	798人			1,000人
	70~79歳	120人	210人	326人	422人	358人	11人	21人	52人	254人	1,316人			1,654人
80歳以上	197人	405人	629人	849人	741人	18人	34人	105人	436人	2,624人			3,217人	

※3 基幹定点医療機関(約500カ所)からのインフルエンザによる入院患者の届出数

《備 考》

インフルエンザの予防について

～ひろげるなインフルエンザ！ひろげよう咳エチケット！～

◆ インフルエンザにかからない、うつさないための対策

☆帰宅時の手洗い

手にウイルスがついたままにしない
ことが大切です



☆咳エチケット

咳やくしゃみをする時は
鼻や口をおさえましょう
マスクをしましょう



☆予防接種

◆ インフルエンザにかかった場合の対応

- ・ 早めに医療機関を受診して治療を受けましょう。
- ・ 安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
- ・ 水分を十分に補給しましょう。お茶やスープなど飲みたいもので結構です。
- ・ 一般的に、インフルエンザを発症してから3～7日間はウイルスを排出すると言われてい
ますので、その間は外出を控えましょう。



茨城県感染症情報センター
(茨城県衛生研究所企画情報部)
TEL 029-241-6652